慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	宮城縣遠田郡不動堂村素山貝塚調査報告(東北帝國大學法文學部奥羽資料調査部研究報告第二)
Sub Title	
Author	清水, 潤三(Shimizu, Junzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1940
Jtitle	史学 Vol.19, No.2 (1940. 9) ,p.173(375)- 174(376)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19400900-0173

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

立つ系統的な論旨は、とりわけ本書の注目すべき長所の一をなし、近時稍〻もすれば我が文化の優越性を指摘すること急にして、世界史との比較に就いても、單に年代的な已れのみに依る議論も間間あるに、こゝでは、それが飽くまで當時の社會文化事情や學問上の傳統を考慮にいれて立論されてゐることは、最も公正な態度と云ふべきである。要するに、本書は極く初歩的な小册ではありながら、我が數學史の概要を正しい視野から興趣豐かに把握するための最も恰好な手引きである。數學史、數學教育史等に關する論著を既に幾册か公にされてゐる著者をまつてこそ、或は此の著が可能であつたのかも知れない。（會田倉吉）

宮城縣遠田郡不動堂村素山貝塚調査報告

（東北帝國大學法文學部奥羽資料調査部研究報告第二）

先に利府村大澤瓦窯址に關する研究を公にされた東北帝國大學法文學部奥羽資料調査部から同部研究報告第二册として伊東信雄氏執筆の表記の如き報告書が發刊された。前回もその紹介の筆を執り、同調査部の發展を祈つて止まなかつた筆者が再び第二册に就いて紹介をなし得ることは單に自分一個の喜びではない。

今回は小牛田町西南約一粁に在る素山貝塚に關する報告であり、伊東信雄氏を主査として法文學部學生諸君の考古學實習の爲擧行された發掘調査の公表である。

本書の體裁は六章に分れ、先づ從來の所見を舊幕府時代迄遡つて探索し、次いで位置に關する考察、發掘經過、出土遺物及びその考察、結論と順を追つて述べられたる所、大體一般の斯學報告書と規を一にして居る。

發掘は昭和十三年六月十二日より廿四日に亙つて行はれ、處女層と認められるA地點、攪亂の跡あるB地點の二個所が發掘された。而してB地點には小さい封土を有する奈良朝と見られる古墳が存し、二個の土師器が發見されて居る。

貝塚關係としては多數の條痕土器、繩文條痕土器、沈線文土器（著書の分類に從ふ）、石器類がある。伊東氏は第五章出土遺物の考察に於いて主として出土土器に就いて精細なる比較研究を行はれそれ等が關東地方の田方下層式、茅山式、東北地方の槻木下層式同上層式、北海道の住吉式等と並行する極めて古式のものと斷じ本遺蹟を以て槻木貝塚と共に陸前地方最古の貝塚とされた。石器としては打製石器が壓倒的であり、石鏃、石篦が多く出ることは最も注意さるべきであらう。

右の如く本貝塚の發掘は從來充分なる研究がなされなかつた此の地方の前期繩文式遺跡の調査として著者の述べられる如く重大な意義を有するものであり、繩文式文化研究上大きな貢獻をなしたことは疑ひない。

併し乍ら出土器類の分類、編年特に田方下層式近似の一群に就いては尚疑問の點が少くないと思はれるのであり、著者伊東氏を始め斯界權威者の一層の研究を期待するものである。

とまれ本書は前期繩文式文化研究には看過し難き貴重な文獻であり、多數の優秀なる土器の圖版、挿繪は錦上花を添へるが如く、本書の價値を一層高めて居る。又副産物たる一古墳は出土物こそ

殆んどないが、貝塚上に營まれた特殊な奈良時代墳墓の一例として注目されねばならない。

終りに臨み伊東氏を始め關係各位の眞摯なる努力に滿腔の敬意を表すると共に同調査部の一層の發展を祈りつゝ拙い紹介の筆を擱くことゝする。（清水潤三）

改訂增補　世界地理概說（有賀春雄著　慶應義塾出版局）

目前の世界が、歷史的一大轉機に際會する時、その世界各國の樣々の姿を、最も正しく認識するため、吾人は常に世界の現狀を解說する良き參考書を、求めてやまぬ。國民の多くが、多事多忙である折柄、その解說書も、おのづから簡明なものが一層望ましい。

續々刊行される類書中、必ずしも良書のみではないが、有賀春雄氏が、今回世に出された『改訂增補世界地理概說』は、比較的簡易に、世界の趨勢を吾人に會得させる。昭和十一年に、『ヨーロッパ地誌』を著述された同氏は、その後、教課用として『世界地理概說』を編述されて居たが、今回同書に增訂を加へて發行されたのが、本書である。

青年學徒にはもとより、一般世人にも、世界の現狀を、地理的觀念のもとに、認識させる良き參考書として、世に推薦する。

本書に、挿入地圖の多いことは、著者自らも言はるゝ如く、慥に本書の特徵と言へよう。ただ、その據られた、原書名を附記されたならば、の念が無いでもない。本書の內容は、本文三百頁。『はしがき』にも言はれた樣に、自然地域に基づく、配列法にはよらず、政治地域、或ひは、經濟地域を基礎として、綜合的に記述されて居る。—第一章　地理學概論、—第二章　地理的世界の展開、—第三章　アメリカ合衆國、—第四章　中米及び南米諸國—第五章　大英帝國、—第六章　フランス、—第七章　ドイツ、—第八章　英、佛、獨、緩衝諸國、—第九章　イタリア、—第十章　イベリア及びバルカン諸國、—第十一章　スカンヂナヴィア及びバルト海沿岸諸國、—第十二章　ソヴィエト聯邦、—第十三章　南西アジア諸國、—第十四章　東アジア諸國、結語。最初の二章に於いて、一般的な地理學の知識を、吾人に會得せしめようとする著者の周到な注意には、敬意を表し度い。

要するに、あらゆる角度より、世界の現狀を凝視せねばならぬ吾人は、本書によつて、地理的世界の種々相を、理解出來ることを、心から喜ぶものである。終りに、著者の健在を祈る。定價二圓五十錢。（犬塚久雄）

筑前國嘉穗郡王塚裝飾古墳（京都帝國大學文學部考古學研究報告第十五册）（梅原末治　小林行雄）

此教室の研究報告の第一册及び第三册は九州の裝飾古墳の研究であつた。今や教室主任の交代して先づ第一に表はれた報告書が同じ主題であるのも奇緣である。遠賀川の上流穗波川の流域、桂川村に存する前方後圓の大古墳が昭和九年土工の爲石室を露出